

# 円山川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

## 【現況河道】浸水深50cm以上（床上浸水相当以上の浸水が想定される範囲を表示）



### 凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

### 1. 説明文

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、現況の円山川、出石川、奈佐川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により円山川、出石川、奈佐川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（円山川：昭和34年9月型、出石川及び奈佐川：昭和54年10月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

### 2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和 5年 3月 10日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局
  - ・豊岡河川国道事務所：円山川水系円山川、出石川、奈佐川
- (3) 実施区間
  - 【豊岡河川国道事務所】
  - ・円山川
    - 左岸：兵庫県豊岡市日高町浅倉字茶園 1024 番の 1 番地先から海まで
    - 右岸：兵庫県豊岡市日高町赤崎字開キ 1046 番地先から海まで
  - ・出石川
    - 左岸：兵庫県豊岡市出石町鍛冶屋字五反田 377 番の 1 地先から円山川への合流点まで
    - 右岸：兵庫県豊岡市出石町小人字山椒畑 182 番地先から円山川への合流点まで
  - ・奈佐川
    - 左岸：兵庫県豊岡市庄字堂ヶ瀬 7 番の 1 地先から円山川への合流点まで
    - 右岸：兵庫県豊岡市宮井字カイナ谷 1294 番地先から円山川への合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨
  - ・年超過確率1/10（円山川流域の2日間の総雨量202mm）
  - ・年超過確率1/30（円山川流域の2日間の総雨量260mm）
  - ・年超過確率1/50（円山川流域の2日間の総雨量288mm）
  - ・年超過確率1/100（円山川流域の2日間の総雨量327mm）
- (5) 河道条件：現況
- (6) 関係市町村 豊岡市
- (7) 留意事項
 

堤防の破壊条件は、暫定堤防の整備が完了している区間はH.W.L高（下流はH16台風23号規模洪水の水位高）としています。これらの計算条件の違いにより、既に公表してきた「洪水浸水想定区域図」（H28.6.14公表）の浸水区域と異なる地域があります。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

豊岡市

